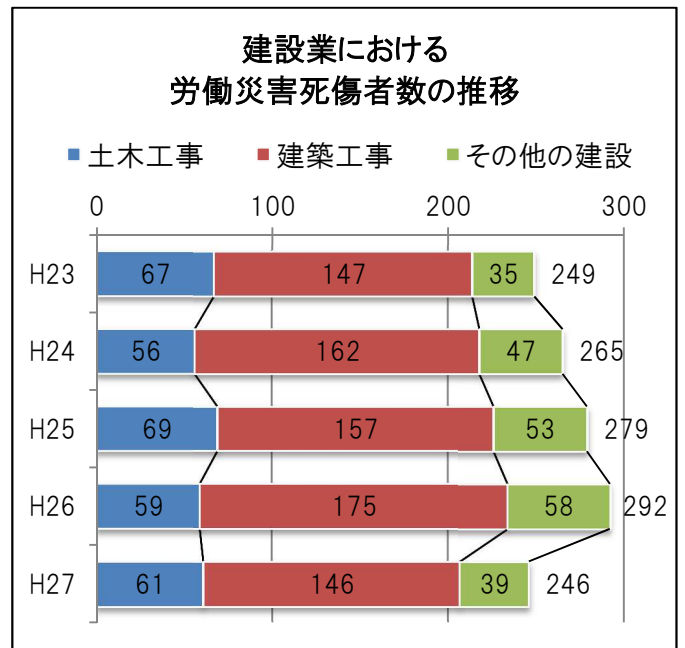
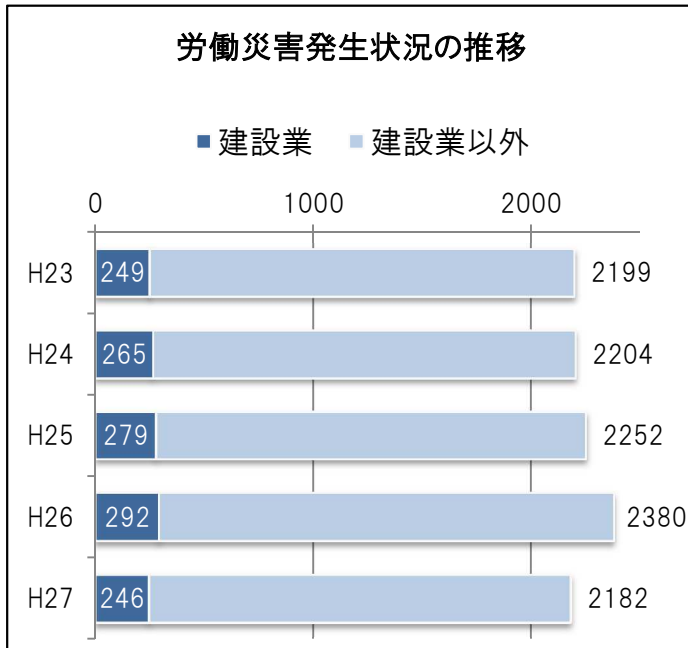


建設業の労働災害発生状況(平成27年)

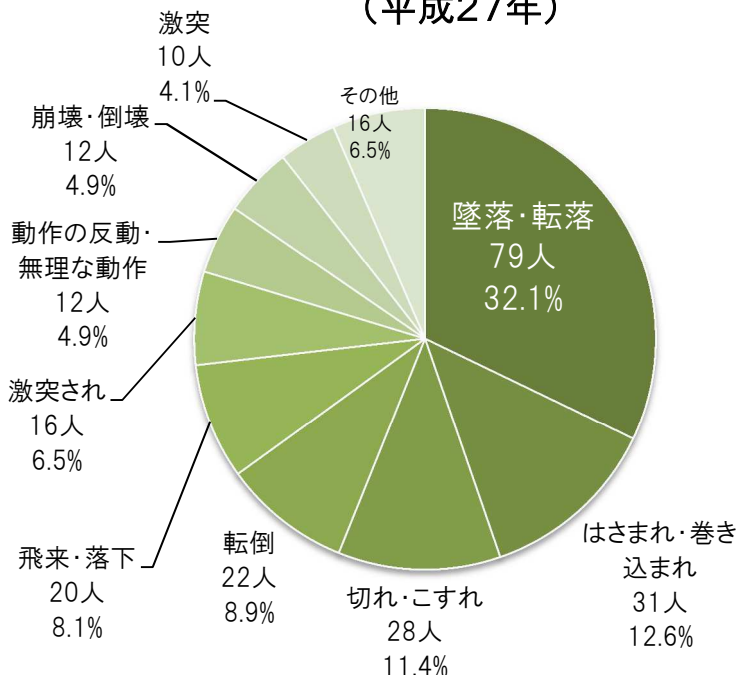
群馬労働局健康安全課

★群馬労働局管内の全産業における労働災害による休業4日以上の死傷者数(以下「死傷者数」という。)は、前年比で8.3%減少しましたが、建設業における死傷者数は、**46人減少(減少率15.8%)**となりました。



★群馬労働局管内の建設業における死傷者数を事故の型別で見ると「**墜落・転落**」が最も多くなっています。次いで「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」、「転倒」の順となっています。

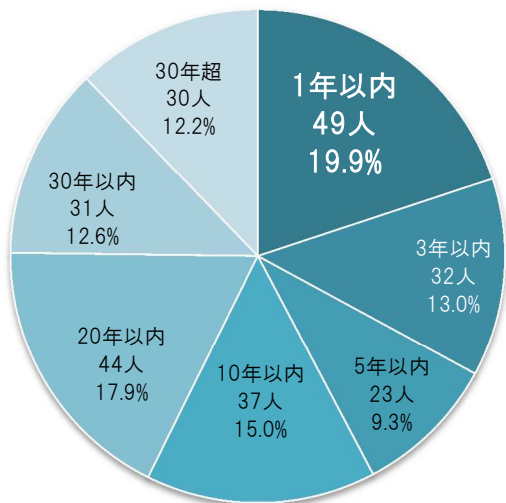
建設業における事故の型別の割合 (平成27年)



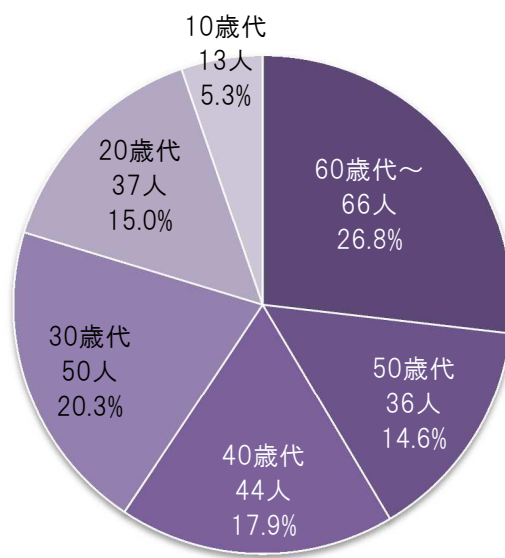
裏面もご覧ください。

★平成 27 年の建設業の死傷者数を経験年数別でみると「経験年数 1 年以内」が最も多く、年齢別でみると「高年齢者の割合」が高くなっています。

建設業における
経験年数別労働災害発生状況(H27)



建設業における
年齢別労働災害発生状況(H27)



建設業における死亡災害発生状況

★平成 27 年の群馬労働局管内の建設業における死亡者数は、平成 26 年より 9 人減少し 3 人となりました。

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・ 現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	1月 11時頃 2人	50歳代 男 作業員	牛舎の屋根上で、波板スレート屋根撤去作業中、スレート屋根を踏み抜き約3.7m下のコンクリート床に墜落し、脳挫傷により医療機関にて加療していたが、4月に死亡した。	民間	墜落・ 転落	屋根
2	9月 11時頃 2人・1人	60歳代 男 作業員	高さ約1.5mの脚立に乗りカーポートの屋根取り付け作業中、脚立からコンクリート床面に墜落し、頭部を負傷し入院加療していたが20日後に死亡した。	民間	墜落・ 転落	脚立
3	10月 12時頃 8人・4人	60歳代 男 土工	跨道橋橋台の基礎工事現場で、クレーン機能付きドラグ・ショベルを用いて、現場内に敷設されていた仮設の鉄板を大型ダンプトラックに積み込み作業中、停車していた同トラックが突然逸走し始めたため、同トラックの左後方で待機していた被災者が咄嗟に止めようとして、同トラックの前方に回り込んだ所、轢かれ死亡した。	県	はさまれ、 巻き込まれ	トラック